

# 森林防疫

FOREST PESTS

— 森の生物と被害 —



## 目次

年頭所感 林野庁長官 牧元幸司・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・3

### 論文

三重県のスギ,ヒノキ人工林帯におけるメスジカの行動圏の季節変化  
【福本浩士】・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・5

### 短報

PCR-RFLP法によるカシノナガキクイムシの国内系統の識別  
【濱口京子・後藤秀章】・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・15

### 解説

複数のブナ科堅果の豊凶観測に基づいたツキノワグマの出没予測モデルの構築  
【藤木大介】・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・21

都道府県だより：山梨県・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・33

協会だより・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・35

森林病虫獣害発生情報：平成30年11月・12月受理分・・・・・・・・・・38



A



B



C



D

【表紙写真】 カシノナガキクイムシのマスアタックによる異常落葉

写真A, B：コナラの異常落葉（2009年7月22日撮影，岐阜県各務原市）  
萎凋が始まって間もない被害木。地面には大量の緑葉が確認できる。

写真C：コナラの異常落葉（2009年7月22日撮影，岐阜県関市）  
路面には緑葉がみられるが，萎凋が進んでおり葉はすでに褐変している。

写真D：アベマキの新葉の展開（2010年8月25日撮影，岐阜県関市）  
異常落葉後に新葉が展開する例もみられた。この個体は枯死をまぬがれた。

カシノナガキクイムシのマスアタックを受けた木では，緑色の葉を大量に落葉させる事例が多くみられる。こうした知見は今まで報告されていないが，これは落葉直後のタイミングでないとすぐに葉が褐変し目立たなくなること，山中に生えている個体ではその変化に気づきにくいことによると考えられる。写真に示したように，道路沿いの木ではよく目立つ。異常落葉は，葉からの蒸散量を減らし，萎凋枯死を免れようとする植物側の防衛反応ではないかと考えられるが，詳細はわかっていない。今までコナラ *Quercus serrata*，ミズナラ *Q. crispula*，フモトミズナラ *Q. crispula var. mongolicoides*，アベマキ *Q. variabilis* で異常落葉を観察しているが，その後ほとんどの個体は枯死している。枯死を免れたのはアベマキでの1例のみで，その効果は不明であるが，非常に興味深い現象である。

（岐阜県森林研究所 大橋章博）